

# 社民党県連合第16回定期大会 大会宣言

党员、支持者の皆さん

社民党埼玉県連合は、鳩山連立政権のもとで社民党が果たすべき役割の重要性を改めて認識しながら、来る参院選で勝利するため、本日、第16回定期大会を開催しました。

自公政権のもとで進められた新自由主義・構造改革路線によって年収200万円以下の労働者が4人に1人、非正規社員が3人に1人にのぼるなど、格差や貧困が急速に拡大しました。後期高齢者医療制度の導入や病院・医師不足の深刻化など、病気をしても気軽に治療を受けられるという生存権のもっとも基本となる条件まで、次々と崩されてきました。こうした事態への怒りが自民党の歴史的惨敗、政権交代につながったことは明らかです。

政権交代から5カ月が経過し、生活再建に向けた成果を挙げていますが、社民党が「品質保証役」としての役割を果たさなければならない事態も生まれています。

それはまず第一に沖縄の基地問題です。日本の国土の0.6%しかない沖縄に74%もの米軍専用施設が集中して沖縄県民に過度の負担を強いている状況を大きく転換させなければなりません。社民党は、普天間基地を撤去し、辺野古に新基地を作らせないための活動を進めてきましたが、政権内部からはいまだに沖縄県内移設に固執しているかのような発言が繰り返されています。「護憲の党・社民党」の出番です。

第二に鳩山首相と小沢幹事長にかかわる「政治とカネ」の問題です。当事者が説明責任を果たすとともに、政治資金規正法に企業・団体献金の禁止を盛り込まねばなりません。それをリードできるのは社民党です。

党员、支持者の皆さん

来る参院選は連立政権の成果が問われる戦いであり、社民党が議席を増やすことが何とでも必要です。社民党が目標とする6議席以上を獲得するため埼玉選挙区で擁立を決めた日森ふみひろ予定候補を先頭に、勝利に向け全力をあげましょう。

社民党埼玉県連合は、平和と福祉、暮らしの充実を願うすべての県民の皆さんと前進していきます。

以上宣言します。

2010年2月13日

社民党埼玉県連合第16回定期大会